

令和7年度 商業振興補助事業審査委員会（第1回）議事録

- 1 日 時 令和7年4月21日(月)14時00分～16時00分
- 2 場 所 横須賀市役所2号館6階261会議室
- 3 出席委員 大場 保男 (中小企業診断士)
渡利 恭明 (中小企業診断士)
安食 静二 (INPIT 神奈川県知財総合支援窓口)
鈴木 博明 (神奈川県 産業労働局 商業流通課 商店街支援指導員)
佐藤 廣 (横須賀商工会議所 情報企画課長)
島崎 恭光 (横須賀市 文化スポーツ観光部 商業振興課長)
- 4 事務局 文化スポーツ観光部商業振興課 三本木主査、櫻井、熊野
- 5 傍聴者 0名

6 委員の委嘱について

(1) 委嘱状について

資料1の商業振興補助事業審査委員会条例第2条第3項の、「委員の任期は、2年とする。」の規定に基づき、委嘱期間を令和9年3月31日までとする。また、条例第3条第1項に「委員会に委員長を置き、委員が互選する。」とあり、文化スポーツ観光部商業振興課長の「島崎委員」を委員長とする。

(2) 職務代理者の指名について

条例第3条第3項に、「委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名する委員がその職務を代理する」と規定されていることから、委員長より大場委員を職務代理者として指名。

7 議事内容

(1) 審査スケジュールについて ※資料2 参照

(事務局)

本日は、にぎわいづくりイベント事業5団体の審査を予定している。

(2) 審査方法について ※資料3 参照

(事務局)

【にぎわいづくりイベント事業】

にぎわいづくりイベント事業は採点を行わず、より良い事業を実施するための意見や助言等をいただきたい。

(3) にぎわいづくりイベント事業 ※資料4 参照

・ 追浜銀座通り商店会 質疑応答

(委員)

おっぱままつりにおける商店街店舗露出のための店舗紹介はどのように行うか。

(追浜銀座通り商店会)

協賛をベースにしており、広告が主になる。

チラシの中に店舗紹介を入れ込むことを検討中。

追浜エリアの小学校には学校単位で直接配ることを検討中。

(委員)

ベ이스ターズコラボとはどのようなものか。

(追浜銀座通り商店会)

調整中だが、ストラックアウト・グッズ販売・トークセッションは実施予定。

元監督の中畑さんと追浜観光協会下澤会長のトークセッション。

昨年度は1軍も2軍も優勝しており、

地域からベ이스ターズ関連の要望が多数あるため、

何をどこまでできるのかをベ이스ターズと調整中。

また、地域のダンススクールに相談して

ベ이스ターズの曲でのパフォーマンスをやってもらいたいと思っている。

(委員)

選手もお越しいただけるのか。

(追浜銀座通り商店会)

選手が試合日なので基本的には難しい。

(委員)

イベントの見込人数 15,000 人について、どのようなカウントか。

(追浜銀座通り商店会)

通行人を含んでいる。

このイベントを楽しみに都内や横浜からお越しいただく方も多数いる。

ベ이스ターズに関連するところから協賛にも手を広げていきたい。

(委員)

昨年度暑すぎて夏のイベント開催を見送り検討する団体が多数あった。

どのようにお考えか。

(追浜銀座通り商店会)

今年度は控室を多く用意できたので、救護エリアに冷房を入れて用意。

今後、追浜地域は再開発が始まるので、途切れるタイミングがきてしまうが、

そこまでは継続実施したい。

(委員)

再開発についてはどのような状況か。

(追浜銀座通り商店会)

銀座通りについてはこれからという状況だが、

国道 16 号線沿いは徐々に取り壊しが始まっている。
再開発により道路が拡張されたり、つながることにより、
歩行者天国にすることができなくなる可能性が高く、
おっぱままつりは先が長くない。
地域の方に愛されているので、何かの形では残していきたい。
追浜の住民はお祭りごとが好きなので、
再開発後にも人が集えるようなエリアはつくっていきたい。

(委員)

はまかぜの折込について、エリアごとに指定して配布できるので検討ください。

(追浜銀座通り商店会)

金沢区からの来街もあるので、広報エリアを考えて活用検討する。

(委員)

金沢文庫の商店街団体が連携を考えており、エリアも近いので、
連携を企画してみるのも良いかもしれない。

(追浜銀座通り商店会)

検討する。

今までやっていなかったネット広告も視野に入れながら広報していきたい。

・久里浜商店会協同組合 質疑応答

(委員)

ペリー祭の警備についてどのように考えているか。

(久里浜商店会協同組合)

花火大会については観光協会側で警察と警備会社と計画している。
昨年度の混雑状況を踏まえて対策を練る。

(委員)

告知はどのように考えているか。

(久里浜商店会協同組合)

商店街 HP、観光協会 HP、市ホームページ、タウンニュース、X、等。

(委員)

昨年度の花火大会は大変だったか。

(久里浜商店会協同組合)

昨年度は予想以上に人が来て大混雑してしまったので、
今年度警察側としては、警備数を増やすのと、
海岸沿いの屋台を出さない方向で進んでいる。

(委員)

そうすると商店街で買って現場に向かう形になるのか。

(久里浜商店会協同組合)

駅前と海岸沿いの現地は特に混雑するので、
その間の商店街での購買が見込まれる。

(委員)

鯉のぼりの募集について、どんどん増やしているのでしょうか。

(久里浜商店会協同組合)

毎年寄贈募集をかけて、全国から送ってもらっている。

多すぎると久里浜花の国で飾ってもらっている。

(委員)

上町から久里浜へ病院の移転後の状況はどうか。

(久里浜商店会協同組合)

車の渋滞が増えたのと、朝 8 時台と夕方 17 時台の人が特に増えた。

それに伴って商店街が潤っているかということそうではない。

(委員)

駅から病院は歩いて行ける距離にあるので店舗売上につなげたい。

(久里浜商店会協同組合)

送迎バスが出てしまっているのを、商店街を通らないで行けてしまう。

病院の職員が約 1000 人いるようなので、早朝から開店しているお店や、仕事帰りに安価に食べられるお店を PR できたらいいと思っている。

(委員)

辻堂のテラスモールでは、従業員向けに職場より安価に食べることができる近隣商店街店舗の紹介チラシを配ってもらったことがある。

(久里浜商店会協同組合)

久里浜商店街マップを新しくして病院の職員にも配った。

病院従業員向け割引サービスをできるとよいとは思っている。

ただし、参加店を募れるかが問題になりそうではある。

・ドブ板通り商店街振興組合 質疑応答

(委員)

ドブサブフェスについては新規イベントでしょうか。

(ドブ板通り商店街振興組合)

海上自衛隊とパートナーシップを結んで、

コラボした飲食物(サブサンド等)やグッズを販売。スタンプラリーも実施。

(委員)

トライアングルとのタイアップはどんな内容か。

(ドブ板通り商店街振興組合)

ドブ板・トライアングル・海上自衛隊で回遊性を高めることで横須賀全体を盛り上げるよう協力してもらっている。

(委員)

毎年新しい企画を立ち上げて素晴らしい。

そんなドブ板通りにいれることのありがたみを会員に感じてほしい。

(ドブ板通り商店街振興組合)

当初の 90 店舗から 70 店舗まで減っているが、

直近ではいくつか新しいお店がオープンして会員になってもらっている。

(委員)

飲食の比率は？

(ドブ板通り商店街振興組合)

約 30%。加盟してない店舗を含めている。

(委員)

広報はどのようなことを考えているか。

(ドブ板通り商店街振興組合)

広報誌や WEB サイトを考えている。

(委員)

ドブ板は地元以外に遠方からの来街も期待できる。

また、ミリタリー好きの来街も期待できるので、

そういったところもターゲットに広報すると反響があると思う。

(委員)

ドブサブ FES について、カレーを絡めた取り組みはしないのか。

(ドブ板通り商店街振興組合)

基本的にはドブ板オリジナルカレーを販売する。

それぞれの艦のカレーがあり、イベントと関係なく各店で常時提供している。

(委員)

認定ロゴについて、勝手に使われないように管理してください。

(ドブ板通り商店街振興組合)

期間を限定して実施する。

(委員)

トモダチジャズのマーチングバンドはどこがやるのか。

(ドブ板通り商店街振興組合)

早稲田の学生に来てもらい、ドブ板から中央へ 1 日で 3 回くらい実施予定。

(委員)

どんな発信方法がドブ板にはあっているか。

ドブ板友の会等を作り、好きな人が発信するのはありかもしれない。

(ドブ板通り商店街振興組合)

ホームページの中身を精査して、告知関係をより分かりやすくしている。

自衛隊からも発信予定だが、一過性にならないように気を付ける。

・若松商店街振興組合 質疑応答

(委員)

祭礼に合わせて飲食店関連店舗売上を

前年比 110% にしたいという目標について、販促に関する工夫はあるか。

(若松商店街振興組合)

基本的には個々のお店にお任せしている。

天候に左右される部分がある。

今回提灯をアーケード下に取り付ける以外は特に予定していない。
理由としては、プライムの店舗が抜けてしまったので
予算が前年マイナス 100 万くらいになってしまっている。
直近 3.4 年は縮小して実施することになる。

(委員)

イルミネーションについて、スマートフォンを利用した取り組みとあるが、
どのような想定をしているか。

(若松商店街振興組合)

具体的には決まっていないが、
前年度のインスタグラムを利用したフォトコンテストが好評だったので、
他商店街と連携して何か新しい要素を取り入れて行いたい。

(委員)

参加型の斬新な仕掛けとは何か。

(若松商店街振興組合)

6 月以降に打ち合わせして決めていく。
神奈川新聞でイルミネーション 6 選に選ばれたこともある。

(委員)

どんなところがよかったのか。

(若松商店街振興組合)

街路樹に沿った統一感。

(委員)

インスタグラムのフォロワーはどのくらい増えたか。

(若松商店街振興組合)

69 作品が集まった。フォロワーは把握できていない。

(若松商店街振興組合)

駅前のモニュメントが老朽化しており、新しいものを検討している。

(委員)

若松商店街の象徴的なものはあるのか。

(若松商店街振興組合)

玄関口のため、横須賀を象徴するようなものがほしいが、
現状は何も決まっていない。

(委員)

テーマのみ小学生から募集して話題性を生み、
専門家に作ってもらうのはどうか。安くしてもらえるかもしれない。

(委員)

再開発の状況はどうか。

(若松商店街振興組合)

来年の 1 月頃まで解体、その後 3 年間はかかりそう。

・ヨコスカダウタウンクラブ 質疑応答

(委員)

キッズフェスティバルについて、家族連れをターゲットにしたお店が多いのか。

(ヨコスカダウタウンクラブ)

親御様向けにはマルシェ、

子ども向けには消防イベントブース等、多岐にわたる。

(委員)

YDC の会員メンバーの業種構成としては飲食が多いのか。

販促の要素を入れると良いのではないか。

(ヨコスカダウタウンクラブ)

多い。各店でレシート提示でガラポン抽選会に参加できる。

周遊の導線はできている。

(委員)

個々のお店に誘導する方法を共同で考えるとよい。

(ヨコスカダウタウンクラブ)

ガラポン抽選会の景品の一部を会員店舗で使えるクーポン券等にしていたが、

現在は商品を買ってきて渡す形が主流になっている。

(委員)

防災のテーマについて、起震車に代わるものはあるのか。

(ヨコスカダウタウンクラブ)

VR ゴーグルをつけて地震体験を実施した。

また、防火具を着用してポンプ車の前での記念撮影を実施した。

(委員)

子どもが主体的に関われるような子ども商店街エリアをつくってみたら面白い。

(ヨコスカダウタウンクラブ)

検討する。

(委員)

マルシェについて、導線をうまく確保できているのか。

さいか屋前の駐車場周辺は落ち着いているので、

店舗数次第では今後検討の余地があると思う。

(ヨコスカダウタウンクラブ)

現状特に問題ない。

(委員)

ゆかたは自分で用意するのか。

(ヨコスカダウタウンクラブ)

持込も貸出も両方に対応できる。数に制限があるので、持込を推奨している。

着付けは、組合員から場所を提供いただいております。

ヘアセットは美容室で実施している。例年だと 40～50 人の利用がある。

(委員)

ゆかた貸出もヘアセットも無料なのか。

(ヨコスカダウンタウンクラブ)

ゆかたは無料、ヘアセットは今回有料でやらせてほしいと業者に言われている。

(委員)

キッズフェスティバルの来場者数はどうだったか。

(ヨコスカダウンタウンクラブ)

目標人数はクリアしていると思う。

(委員)

集客についての所感としてはどうか。

(ヨコスカダウンタウンクラブ)

常連様が増えてきている印象。地域で愛されるイベントになっている。

(4) その他

(事務局)

今後の審査会スケジュールについては、後日調整をさせていただく。

以上で、商業振興補助事業審査委員会（第1回）を終了する。

商業振興補助事業審査委員会 次第

日 時 令和7年4月21日（月）14時00分～

会 場 横須賀市役所 2号館 6階 261会議室

1 開 会

2 議 題

（1）商店街にぎわいづくり事業補助金の審査について

ア にぎわいづくりイベント事業

（2）その他

3 閉 会

商業振興補助事業審査委員会条例

(設置)

第1条 本市の商業の振興を図るための補助金に対して交付申請のあった事業の審査に関し、市長の諮問に応ずるため、商業振興補助事業審査委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(組織)

第2条 委員会は、委員6人をもって組織する。

2 委員は、商業振興に関し専門知識を有する者及び市職員のうちから市長が委嘱し、又は任命する。

3 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第3条 委員会に委員長を置き、委員が互選する。

2 委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。

3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第4条 委員会の会議は、委員長が招集する。

2 委員会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。

(委員以外の者の出席)

第5条 委員会は、必要に応じて委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(その他の事項)

第6条 この条例に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会の同意を得て委員長が定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成25年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 第2条第3項の規定にかかわらず、この条例の施行後初めて委嘱され、又は任命された委員及び部会員の任期は、平成26年3月31日までとする。

附 則

この条例は、平成26年4月1日から施行する。

商店街にぎわいづくり事業補助金交付要綱

(総則)

第1条 地域の特性に対応した機能を高め、活力とにぎわいのある商店街づくりを進めるため、市内商店街団体が行う事業に対する補助金の交付については、補助金等交付規則（昭和47年横須賀市規則第33号。以下「規則」という。）に定めがあるもののほか、この要綱の定めるところによる。

(定義)

第2条 この要綱において、次に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

(1) 商店街団体 商業者等が地域的に組織した次に掲げるものをいう。

ア 商店街振興組合

イ 商店街協同組合

ウ ア及びイに掲げるもののほか、法人化された商店街団体

エ アからウまでに掲げるもののほか、任意の商店街団体で市長が認めるもの

(2) コミュニティスペース 商店街利用者の交流を図ることができる場所のことをいう。

(補助対象事業)

第3条 補助の対象となる事業は、商店街団体が行う次に掲げる事業で、第1号に掲げる事業については原則として補助金の交付申請を行った年度内に完了するものとし、第2号、第3号及び第4号に掲げる事業については、補助金の交付申請を行った年度を含めて3年度までの間に完了するものとする。ただし、市長が特に認める場合は、この限りでない。

(1) にぎわいづくりイベント事業 次に掲げる販売促進を伴うイベント等の事業をいう。

ア まつり等の催物

イ 各種教室及び講習会

ウ 各種コンクール及び展示会

エ 期間を限定した大売出し

オ その他市長が適当と認める事業

(2) 集客力向上モデル事業 将来にわたって商店街の競争力や集客力強化を図るために、次に掲げる新規性や独創性のある事業で、かつ、取組みや効果に継続性や持続性があると認められるものをいう。

ア 子育て世帯（18歳未満の子が同居する世帯をいう。）の商店街利用を

促進するサービスの提供

イ 高齢者及び障害者が安心して利用できる商店街にするためのサービスの提供

ウ 商店街独自の商品の開発

エ 商店街活性化に関する事業計画の策定、事業の運営等に係るコンサルタントを活用

オ その他市長が適当と認める事業

(3) 商店街地域資源活用事業 商店街団体が各々の地域資源を活用し、当該商店街の活性化を図るための事業

(4) 商店街空き店舗活用事業 商店街団体が魅力や集客力向上のために、商店街内の空き店舗を新たに借り上げ、コミュニティスペースを作成し、年間を通じて様態を変えて運用する事業

2 前項第2号に掲げる事業にあつては、同一の商店街団体が既に補助金を受けた際の事業内容と類似した内容の場合は、補助の対象としない。

(事業の公募)

第4条 補助金の交付を受けようとする商店街団体は、市長があらかじめ指定した期間内に希望調書を作成し、市長に申請するものとする。

(事業の選定)

第5条 市長は、前条の希望調書の提出を受けたときは、その内容を審査し、適当と認めたときは補助対象の事業として選定するものとする。この場合において、市長は、必要に応じ、当該希望調書を提出したもの及び商店街の振興に関し専門的知識を有する者の意見を聴くものとする。

(補助対象経費)

第6条 補助対象となる経費（以下「補助対象経費」という。）は、前条の事業の実施に要する経費のうち、次に掲げるものとする。

(1) 施設及び設備の借上料

(2) 施設及び設備（第2条第1号エに該当する商店街団体が行う第3条第1項第1号、第2号及び第3号に掲げる事業にあつては、減価償却資産の耐用年数等に関する省令（昭和40年3月31日大蔵省令第15号）で規定する耐用年数3年以内のものに限る。）の購入費

(3) 装飾費

(4) 印刷費（開催案内、宣伝ポスター等）

(5) 教材費（テキスト等事業の実施に直接必要なもの）

(6) 報償費（講師謝金、商店街モニター謝金等）

(7) 委託費

(8) 原材料費

(9) その他市長が必要と認める経費

- 2 前項の規定にかかわらず、補助の対象となる事業の実施に伴う事業収入の額及びこの要綱の規定による補助金と同様の趣旨の他の補助金等の交付（国、県その他団体によるものを含む。）を受けている場合における当該補助金等の額については、補助対象経費の総額から差し引くものとする。

（補助金額）

第7条 補助金額は、予算の範囲内において、次の表の左欄に掲げる事業区分に応じそれぞれ同表の中欄に定める補助金額（同表右欄に掲げる額を限度とする。）を合計した額とする。

事業区分	補助金額		補助限度額
第3条第1項第1号に掲げる事業	補助対象経費の総額÷3 ただし、補助対象経費の総額の下限額は30万円とする。		200万円
第3条第1項第2号に掲げる事業	補助対象経費の総額×2÷3 ただし、補助対象経費の総額の下限額は30万円とする。		200万円
第3条第1項第3号に掲げる事業	補助対象経費の総額×2÷3		100万円
第3条第1項第4号に掲げる事業	第6条第1項第1号のうち、空き店舗の借上料	補助対象経費の総額÷2	100万円
	空き店舗の借上料以外の経費	補助対象経費の総額÷2	50万円

- 2 前項の規定により算出した補助金額に1,000円未満の端数があるときは、その端数金額は切り捨てるものとする。

（申請手続き等）

第8条 第5条の規定により選定された商店街団体は、市長があらかじめ指定した期間内に補助金等交付申請書を提出しなければならない。

- 2 規則第4条第3号に規定する補助金の交付申請に添付するその他の参考と

なる書類は、次に掲げるものとする。

- (1) 商店街団体会則
 - (2) 商店街団体会員名簿
 - (3) 当該事業の実施について議決した総会等の議事録の写
 - (4) その他市長が必要と認める書類
- (書類等の保管)

第9条 規則第8条に規定する書類及び帳簿等は、当該補助事業の完了した市の会計年度の翌年度から5年間保管しなければならない。

(実績報告)

第10条 規則第10条に規定する市長の定める書類は、次に掲げるものとする。

- (1) 事業内容が確認できる書類
- (2) 商店街にぎわいづくり事業収支明細書(別記様式)
- (3) 補助対象経費に係る支払領収書の写
- (4) その他市長が必要と認める書類

附 則

この要綱は、昭和57年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、昭和58年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、昭和60年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、昭和62年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成元年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成3年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成6年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成8年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成10年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この要綱は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 生き生き商店街サポート事業補助金交付要綱（平成20年4月1日制定）は、廃止する。

附 則

- 1 この要綱は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 空き店舗出店奨励金交付要綱（平成21年3月4日制定）は、廃止する。

附 則

この要綱は、平成26年8月18日から施行する。

附 則

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和4年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和5年4月1日から施行する。

別記様式（第10条関係）

商店街にぎわいづくり事業収支明細書

（収入の部）

（単位 円）

科 目	予 算 額	決 算 額	備 考
市 補 助 金			
自 己 資 金			
そ の 他			
計			

（支出の部）

（単位 円）

科 目	予 算 額	決 算 額	備 考
計			

タイムスケジュール

資料 2

資料 NO.	時間	事業区分				団体名	事業名
		モデル	地域資源	空き店舗	にぎわい		
	14:00 ~ 14:10	開会あいさつ、委嘱、審査会実施方法の確認 等					
4-1	14:10 ~ 14:30				○	追浜銀座通り商店会	おっぱままつり2025
4-2	14:30 ~ 14:50				○	久里浜商店会協同組合	・鯉のぼりの展示 ・2025久里浜ペリー祭 ・久里浜第13回食の祭典&ハロウィンフェスティバル ・2025久里浜クリスマスフェスタ
4-3	14:50 ~ 15:10				○	ドブ板通り商店街振興組合	・ドブサブFES！ ・ハロウィンフェスティバル ・ドブ板バザール&横須賀トモダチジャズ ・ドブ板クリスマスセール
	15:10 ~ 15:20	休憩(10分)					
5-4	15:20 ~ 15:40				○	若松商店街振興組合	・横須賀中央地区下町祭礼 街区内アーケード下 等に提灯装飾事業 ・イルミネーション装飾事業
5-6	15:40 ~ 16:00				○	ヨコスカダウンタウンクラブ	・キッズフェスティバル2025 ・ゆかた DE スカブラ2025 ・ハロウィンフェスティバル2025 ・街市ーよこすか

1 商店街にぎわいづくり事業補助金 審査方法について

(1) 補助金申請区分について

商店街にぎわいづくり事業補助金には、以下の4種類の申請区分を設けています。

ア にぎわいづくりイベント事業

対象事業：商店街が賑やかしや集客などのため、主に定期的に取り組んでいる販売促進を伴うイベント等の事業。

補助率：1/3

限度額：200万円

イ 集客力向上モデル事業 ※採択事業

対象事業：商店街が新たにに取り組む、将来にわたって商店街の競争力・集客力強化を図る新規性・独創性があり、かつ取り組みや効果に継続性・持続性がある事業。

補助率：2/3

限度額：200万円

ウ 商店街地域資源活用事業 ※採択事業

対象事業：商店街が既に商店街の地域内で認知されている本市地域資源を活用し、地域外へのPRを進め、商店街の活性化を図るための事業。

補助率：2/3

限度額：100万円

エ 商店街空き店舗活用事業 ※採択事業

対象事業：商店街が魅力や集客力向上のために、新たに、商店街の空き店舗を借り上げ、それを活用してコミュニティスペース等を作成し、年間を通じて、様態を変えて運用する事業。

補助率：1/2

限度額：最大3年間の継続補助とする

	1年目	2～3年（予定）
家賃	100万円	100万円
家賃以外の経費	50万円	30万円

(2) 審査の実施目的について

申請区分ごとに以下の目的で審査を行います。

ア にぎわいづくりイベント事業

審査目的：採点を行わず、審査員からの意見や助言等を提供すること

イ 集客力向上モデル事業

審査目的：別添採点表に基づき事業を採点し、補助採択の可否を決定すること

ウ 商店街地域資源活用事業

審査目的：別添採点表に基づき事業を採点し、補助採択の可否を決定すること

エ 商店街空き店舗活用事業

審査目的：別添採点表に基づき事業を採点し、補助採択の可否を決定すること

(3) 採点方法について

別添採点表に基づき、4項目×各5点＝20点満点で評価を行います。

審査委員の合計が70%を超えるものを採択します。

(例) 審査員が6名の場合、120点満点中84点を超えるものを採択

⇒ 70%を超える事業

① 採択 (補助率2/3) (採択にあたって条件を付すものを含みます)

⇒ 70%以下の事業

② にぎわいづくりイベント事業に該当する事業(販売促進を伴うイベント等の事業)

⇒にぎわいづくりイベント事業補助金の申請として受付(補助率1/3)

(4) 採点基準

4つの審査項目について5段階で評価します。

各項目とも「3」を採択基準ラインとします。

配点	審査項目への適合
5	審査項目の内容を十分に満たしている
4	⇕
3	審査項目の内容を概ね満たしている
2	⇕
1	審査項目の内容を満たしていない

にぎわいづくりイベント事業 希望調書

資料 4

4月21日分

NO.	審査実施 時間	団体名	事業名
1	14:10 ~ 14:30	追浜銀座通り商店会	おっぱままつり2025
2	14:30 ~ 14:50	久里浜商店会協同組合	・鯉のぼりの展示 ・2025久里浜ペリー祭 ・久里浜第13回食の祭典&ハロウィンフェスティバル ・2025久里浜クリスマスフェスタ
3	14:50 ~ 15:10	ドブ板通り商店街振興組合	・ドブサブFES! ・ハロウィンフェスティバル ・ドブ板バザール&横須賀トモダチジャズ ・ドブ板クリスマスセール
4	15:20 ~ 15:40	若松商店街振興組合	・横須賀中央地区下町祭礼 ・街区内アーケード下 等に提灯装飾事業 ・イルミネーション装飾事業
5	15:40 ~ 16:00	ヨコスカダウンタウンクラブ	・キッズフェスティバル2025 ・ゆかた DE スカブラ2025 ・ハロウィンフェスティバル2025 ・街市ーよこすか

令和 7 年度 商店街にぎわいづくり事業補助金 希望調書

(にぎわいづくりイベント事業)

○申請者

団体名	追浜銀座通り商店会		会員数	95
住所	[REDACTED]		組織 形態	☐ 法人 ☒ 任意
代表者	[REDACTED]			
記入者	[REDACTED]	TEL	[REDACTED]	
		E-mail	[REDACTED]	

○補助金申請額

各事業費の合計	申請額
(4,500,000 円) 1/3→ (	1,500,000円)
※ 対象事業費の下限額30万円	※ 補助限度額200万円
(千円未満切捨て)	

【市：事務処理欄 予算との差額 円】

○事業内容

※別紙に記入

○商工相談員の派遣

※審査会において、商工相談員が専門的な知見から、事業実施にあたっての助言等を行いますが、その後も継続的なコンサルティングを希望される場合は、定期的な商工相談員の派遣が可能です(初回費用無料)。継続したコンサルティングの希望の有無を下記にご記入ください。

☐ 商工相談員の派遣を希望する	☒ 商工相談員の派遣を希望しない
--	--

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
1	おっぱままつり 2025
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	長年地域の方に愛されているイベントで、商店会をはじめとする 地域への経済効果も絶大なため。 追浜駅前の再開発も少しずつ進み、新たな街が作られていく中で 歴史のあるこのお祭りが過去と未来をつなぐ架け橋になるよう 老若男女問わず楽しめるイベントを開催する。
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	銀座通り商店会を歩行者天国とし、子どもたちのダンススクールの 発表や大道芸、おっぱまソーランや沖縄エイサー、阿波踊りや リオのカーニバルでは大変な賑わいとなり去年は32,000人が来場。 今年は去年のベイスターズダブル優勝を受け、横浜DeNAベイスター ズとのコラボレーションを企画しており横浜エリアからもより多くの 方に追浜へお越しいただきたいと考えています。 おっぱま輪踊りでは自由に踊りに参加できる時間を設け、地域の 繋がりを深めていきます。 また、商店街店舗の露出のために、チラシにも店舗の紹介など ひと工夫入れる予定です。
実施時期	2024年7月13日（日）11:00～18:00
実施場所	追浜銀座通り商店会
事業のセールスポイント	地域で長年愛される、地域による地域のためのお祭りです！ (にぎわいづくりイベント事業)

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	1		
広報手段	新聞折込、町内掲示、タウンニュース		
広報範囲	六浦～横須賀市内	広報対象人数	40,000 人
前年度からの改善 (定例事業の場合)	ベ이스ターズへの積極的な声かけの他、出演団体にもベ이스ターズの 要素（曲や色など）を入れていただくよう打診をしています。		
【目標】 商店街で掲げる目標	各店の売上30%増加		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	35,000 人	通常時	15,000 人
今後の展開	追浜駅前再開発に伴い来年の夏には閉店するお店も増えていく中で 追浜の記録が残るようなイベントにもしていきたい。 また、再開発渦中でも営業を続ける商店会の店舗が一致団結し 地域の絆を強くさせていきたい。		
事業 費 と 内 訳	費目	金額	備考
	イベント費用	2,200,000	
	本部設営工事費	1,400,000	
	放送・音響・設備費	300,000	
	広報・看板代	170,000	
	警備費	100,000	
	事務・コピー・印刷費	230,000	
	合計	4,500,000	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付して下さい

令和 7 年度 商店街にぎわいづくり事業補助金 希望調書

(にぎわいづくりイベント事業)

○申請者

団体名	久里浜商店会協同組合		会員数	185
住所	[REDACTED]		組織 形態	☒ 法人 ☐ 任意
代表者	[REDACTED]			
記入者	[REDACTED]	TEL	[REDACTED]	
		E-mail	[REDACTED]	

○補助金申請額

各事業費の合計	申請額
(1,440,000 円) 1/3→ (	480,000 円)
※ 対象事業費の下限額 30 万円	※ 補助限度額 200 万円
(千円未満切捨て)	

【市：事務処理欄 予算との差額 円】

○事業内容

※別紙に記入

○商工相談員の派遣

※審査会において、商工相談員が専門的な知見から、事業実施にあたっての助言等を行いますが、その後も継続的なコンサルティングを希望される場合は、定期的な商工相談員の派遣が可能です(初回費用無料)。継続したコンサルティングの希望の有無を下記にご記入ください。

☐ 商工相談員の派遣を希望する
 ☒ 商工相談員の派遣を希望しない

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
1	鯉のぼりの展示
実施目的 ・なぜ行うのか、 ・必要性 ・実施の経緯	京急久里浜駅周辺の商店街の衰退と、協同組合加盟の会員店舗の
	売上減少を止めるため。以下のイベントを実施して商店街の集客力
	の向上と商店街の活性化及び協同組合加盟店の売上増加を目的
	として行う。
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	子どもの日に合わせてはろーど通りと黒船仲通りに鯉のぼりを展示。
実施時期	2025/4/10～2025/5/5
実施場所	京急久里浜駅前通り（はろーど通り）
事業のセールスポイント	鯉のぼりの展示で久里浜商店街知ってもらって久里浜商店街の魅力を感じてもらい集客に繋げる

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	1		
広報手段	SNS、タウンニュース広告		
広報範囲	商店街Xのフォロワー1600人 タウンニュース横須賀版読者7万人	広報対象人数	70,000人
前年度からの改善 (定例事業の場合)	経費削減と人で不足により、イベントは開催しないこととした。		
【目標】 商店街で掲げる目標	多くの方にきてもらい久里浜商店街を認知してもらう。		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	500人	通常時	300人
今後の展開	商店会員の交流を深め、今後の商店街活動に繋げていく。		
事業費と内訳	費目	金額	備考
	鯉のぼり設置費用	180,000	
	合計	180,000	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
2	2025久里浜ペリー祭
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	京急久里浜駅周辺の商店街の衰退と、協同組合加盟の会員店舗の
	売上減少を止めるため。以下のイベントを実施して商店街の集客力
	の向上と商店街の活性化及び協同組合加盟店の売上増加を目的
	として行う。
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	ペリー祭に協賛し、駅前通りを歩行者天国にしてヒーローショーや
	バンド演奏、各種の模擬店等のイベントを実施する。
実施時期	2025/8/2(土)
実施場所	京急久里浜駅前通り（はろーど通り）
事業のセールスポイント	花火を見に来る方たちに久里浜商店街を知ってもらって久里浜商店街の魅力を感じてもらい集客に繋げる

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	2		
広報手段	SNS、タウンニュース広告		
広報範囲	Xのフォロワー1600人 タウンニュース横須賀版読者7万人	広報対象人数	70,000人
前年度からの改善 (定例事業の場合)	昨年は多くの方に来てもらい、駅前が大変な混雑だった。 混雑した場合の時間を想定して開催する。		
【目標】 商店街で掲げる目標	多くの方に来てもらい久里浜商店街を認知してもらう。		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	5,000人	通常時	300人
今後の展開	イベントを通じて商店会員の交流を深め、今後の商店街活動に 繋げていく。		
事業費と内訳	費目	金額	備考
	ヒーローショー	500,000	
	イベント司会料	20,000	
	バンド出演料	20,000	
	合計	540,000	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
3	久里浜第13回食の祭典&ハロウィンフェスティバル
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	京急久里浜駅周辺の商店街の衰退と、協同組合加盟の会員店舗の 売上減少を止めるため。以下のイベントを実施して商店街の集客力 の向上と商店街の活性化及び協同組合加盟店の売上増加を目的 として行う。
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	ハロウィンに合わせて駅前通りを歩行者天国にしてパフォーマンス、バンド、 各種の模擬店等を実施する。 久里浜観光協会と共催で、久里浜地域の飲食店に協力していただき、 地元グルメのコンテストを開催する。
実施時期	2025/10/25(土)
実施場所	京急久里浜駅前通り（はろーど通り）
事業のセールスポイント	お子様対象の仮装イベントと食の祭典のコラボイベントで久里浜商店街の魅力を知ってもらい、集客に繋げる。

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	3		
広報手段	SNS、タウンニュース広告		
広報範囲	Xのフォロワー1600人 タウンニュース横須賀版読者7万人	広報対象人数	70,000人
前年度からの改善 (定例事業の場合)	昨年別々で開催していた食の祭典とハロウィンを合体させて イベントを開催する。		
【目標】 商店街で掲げる目標	多くの方にきてもらい久里浜商店街を認知してもらう。		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	2,000人	通常時	300人
今後の展開	イベントを通じて商店会員の交流を深め、今後の商店街活動に 繋げていく。		
事業 費 と 内 訳	費目	金額	備考
	イベント司会料	20,000	
	衣装、装飾費	30,000	
	配布用お菓子	30,000	
	バンド出演料	20,000	
	合計	100,000	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
4	2025 久里浜クリスマスフェスタ
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	京急久里浜駅周辺の商店街の衰退と、協同組合加盟の会員店舗の 売上減少を止めるため。以下のイベントを実施して商店街の集客力 の向上と商店街の活性化及び協同組合加盟店の売上増加を目的 として行う。
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	久里浜観光協会と共催でクリスマスイベントを開催。 地元幼稚園、保育園の児童にサンタクロースの絵を描いてもらい イベント当日に展示する。ポニー乗馬体験、サンタクロースとの 撮影会を実施予定。 商店会会員による各種模擬店とFマリノスのブース等も予定。 商店街にクリスマスイルミネーションを装飾する。
実施時期	2025/12/20(土)
実施場所	京急久里浜駅前通り（はろーど通り）
事業のセールスポイント	ポニー乗馬と絵の展示など、家族で参加しやすいイベントを実施して一緒に来る親御さんに久里浜商店街知ってもらって久里浜商店街の魅力を感じてもらい集客に繋げる

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	4		
広報手段	SNS、タウンニュース広告		
広報範囲	Xのフォロワー1600人 タウンニュース横須賀版読者7万人	広報対象人数	70,000人
前年度からの改善 (定例事業の場合)	昨年はコロナの影響でサンタクロースの手配ができなかったので 今年は呼べるようにしたいです。		
【目標】 商店街で掲げる目標	多くの方にきてもらい久里浜商店街を認知してもらう。		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	1,500人	通常時	300人
今後の展開	イベントを通じて商店会員の交流を深め、今後の商店街活動に 繋げていく。		
事業費と内訳	費目	金額	備考
	イベント司会料	20,000	
	イルミネーション	600,000	
	合計	620,000	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

令和 7 年度 商店街にぎわいづくり事業補助金 希望調査書

(にぎわいづくりイベント事業)

○申請者

団体名	ドブ板通り商店街振興組合		会員数	70
住所	[REDACTED]		組織 形態	☒ 法人 ☐ 任意
代表者	[REDACTED]			
記入者	[REDACTED]	TEL	[REDACTED]	
		E-mail	[REDACTED]	

○補助金申請額

各事業費の合計	申請額
(1,725,000 円) 1/3 → (575,000 円)	
※ 対象事業費の下限額 30 万円	※ 補助限度額 200 万円
(千円未満切捨て)	

【市：事務処理欄 予算との差額 円】

○事業内容

※別紙に記入

○商工相談員の派遣

※審査会において、商工相談員が専門的な知見から、事業実施にあたっての助言等を行います。その後も継続的なコンサルティングを希望される場合は、定期的な商工相談員の派遣が可能です(初回費用無料)。継続したコンサルティングの希望の有無を下記にご記入ください。

☐ 商工相談員の派遣を希望する

☒ 商工相談員の派遣を希望しない

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
1	トアサアFES!
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	「トア板商店街」と「海上自衛隊 第2潜水戦群」との間に、 友好的な協力関係を前進させる。 「2潜水群クエスト」の販を開始により、両者で 正式なパートナーシップを結ぶ事により、来街者を 誘引する企画。
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	パートナーシップ締結記念「サブサント&2潜水群クエストスタンプ ラリー」の開催。 クエストラインアップのカラダ作成、スタンプラリー応募用紙、 オリジナルチャレンジコイン作成。 スタンプラリー応募資格を、抽選にてチャレンジコイントク。 トアインクルともタイアップし、地域拡大。
実施時期	令和7年6月1日～7月31日
実施場所	トア板通り商店街及び、軍港めぐり、海上自衛隊
事業のセールスポイ ント	参加者が各店舗を訪れ、潜水艦をクルーズ、 認定クエストの購入、横断を観光を楽しむ。

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	1		
広報手段	潜水鑑に会える街 横須賀 「トリアサマ FES！」		
広報範囲	市内外	広報対象人数	5000 人
前年度からの改善 (定例事業の場合)			
【目標】 商店街で掲げる目標	海上自衛隊第2潜水艦群とトリアサマ街との友好的な 関係を前進させ、地域住民や店舗との交流促進し、地元との交流 を図り、海上自衛隊とともに潜水鑑をアピールする。		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	3000 人	通常時	2000 人
今後の展開	市民や観光客が参加しやすいイベントを企画。海上自衛隊のPRに協力 記念グッズやサブサマ(食)を通い親しみやすいイメージづくりをする。 ①市内観光促進 ②地域経済への貢献 スタンプラリーの実施により、潜水鑑 認定ロゴ入りグッズを販売		
事業 費と 内 訳	費目	金額	備考
	印刷費	150000	ポスター、スタンプラリーチラシ他
	広告宣伝費	50000	ミニコミ誌掲載他
	合計	200000	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付して下さい

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
2	ハロウィン フェスティバル
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	横須賀市内商店街との運動強化により 横須賀全体を盛り上げる。 各地域、工夫を凝らし、ハロウィンイベントを 行う。
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	キャンディー・プレゼント、スタンプラリー等、ハロウィンイベント 等の実施。 新たに、フォトスポットを設けて、トブ板通り内を 回遊してもらう。 地域(中央地区)とも連携し、更なる来街者増加。 商店街連合会実施のハロウィンコンテストへの応募、 例年親子仮装者が多く、人出は増加傾向にある。
実施時期	令和7年10月26日
実施場所	トブ板通り街区
事業のセールスポイ ント	子供達が喜ぶハロウィン・プレゼントやスタンプラリー ハロウィンメイク等実施、 フォトスポットの増大

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	2		
広報手段	ハロウィンフェスティバル		
広報範囲	HP告知 市内商店街の共同ポスター	広報対象人数	3000人
前年度からの改善 (定例事業の場合)	昨年同様 地式と運動し、多くの仮装親子を フォトスポットにて、トア板通りを記念に撮らう。		
【目標】 商店街で掲げる目標	トア板通り街区に スタンダリーポイントを置き、完走者には 記念品贈呈。		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	3000人	通常時	1500人
今後の展開	昨年は、中央地区との運動であり、互に地域拡大し 多くの仮装親子及び米軍関係者にも参加を 呼びかける		
事業費と内訳	費目	金額	備考
	報償費	150000	菓子代、景品代、ハルーン代等
	印刷代	20000	スタンダリー
	合計	170000	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付して下さい

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
3	トフ板バザール & 横須賀トコナツヤス
実施目的 ・なぜ行うのか、 ・必要性 ・実施の経緯	トフ板バザールは、年4回、小規模ながら例年実施しているが、 ツヤスと協同開催する事により、市外県外から 多くのツヤスファンや来街者の増大を見込め。
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	11月のトフ板バザールには、ホムステ等でも募集を行ない 年4回開催を、すいに決定状況である。 ツヤスも例年この時期に開催される事から ツヤス協会での告発で、市外県外から多くの来街者あり ベイサイトホムステ、トフ板、中央地区での開催も 「ツヤス発祥の地」をアピールしており、全体で5000人 以上の方々が来街される大きなイベントになった。 トフ板通りからツヤスファンやバザールにと 多くの来街者が見込まれる。
実施時期	令和7年11月1日～11月3日
実施場所	トフ板通り街区～中央地区
事業のセールスポイント	トフ板店舗でのツヤス演奏は、ホムステ等で告知し 演奏時間・会場・演奏回数をお知らせ。

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	3		
広報手段	トフ板バナーと 横断幕トモチツヤス		
広報範囲	県内全域	広報対象人数	200,000人
前年度からの改善 (定例事業の場合)	イベント広場が使用出来ない状況で、会員店舗での ツヤス演奏を企画、前年同様にはトフ板から中地区 まで種り歩く「フーテン・ハント」を期間中実施		
【目標】 商店街で掲げる目標	スワップシートと店着の場所が限られている中、 ツヤスの開始している店舗前での実施を企画。		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	3000 人	通常時	1500 人
今後の展開	ツヤスの演奏店舗を会員店舗に協力してもらい、 期間中、多くの店舗で午後から夜間迄、ツヤス演奏 が流れる街並を企画したい。		
事業 費と 内 訳	費目	金額	備考
	印刷費	100,000	ポスター、チラシ
	店名宣伝費	110,000	ミニコミ誌掲載等
	合計	210,000	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付して下さい

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
4	トア板クリスマスセール
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	クリスマスセールで「カラホン抽選会」を実施する事により 景品として、トア板に使う商品券を取り入れ トア板会員店舗の売り上げに貢献する。
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	カラホン抽選会を、1ヶ月間に渡り開催し、 恒例の 特賞から 5等迄、又参加賞あり。 1等から3等までは商品券があり、当選した方より 又、トア板で買物に使える企画。 抽選参加者も、本年は8000人以上を目標にし、 会員店舗の参加店舗の増大を計り、11月・12月の トア板会員店舗の売り上げ増大を期待する。
実施時期	令和7年11月23日～12月25日
実施場所	トア板通り街区
事業のセールスポイント	本年、神社の御霊が入ったお守り札を企画作成、 権現堂観光大使のエクササイズアタマの札を 景品に取り入れる。

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 No.	4		
広報手段	トナ板 クリスマス セール		
広報範囲	市内外	広報対象人数	10000 人
前年度からの改善 (定例事業の場合)	ホタルテイナー券, ランチ券, 宿泊券, トナ板スカジャンを特別賞に, 本年新企画として、エフサイルのよきものを賞品として 作成 提供する。		
【目標】 商店街で掲げる目標	現状では、セール参加店舗が少なく、会員店舗拡大 を目指す。		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	8000 人	通常時	3000 人
今後の展開	例年同様、トナ板独自のオリジナル商品の提供 又、新たなよきものを、販路拡大と協同開発し クリスマスセールの景品に取り入れる。		
事業 費 と 内 訳	費目	金額	備考
	報 償 費	800,000	参加賞, 景品代, ツミイ代, 商品券
	広告宣伝費	200,000	HP告知, ミニコミ誌
	消耗品費	15,000	小物代
	印刷費	130,000	ポスター, ナン, 抽選券, 商品券
	合計	1,145,000	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付して下さい

令和 7 年度 商店街にぎわいづくり事業補助金 希望調書

(にぎわいづくりイベント事業)

○申請者

団体名	若松商店街振興組合			会員数	61
住所	[REDACTED]			組織 形態	☒ 法人 ☐ 任意
代表者	[REDACTED]				
記入者	[REDACTED]	TEL	[REDACTED]		
		E-mail	[REDACTED]		

○補助金申請額

各事業費の合計	申請額
(2,486,000円) 1/3→ (	828,000円)
※ 対象事業費の下限額 30 万円	※ 補助限度額 200 万円
(千円未満切捨て)	

【市：事務処理欄 予算との差額 円】

○事業内容

※別紙に記入

○商工相談員の派遣

※審査会において、商工相談員が専門的な知見から、事業実施にあたっての助言等を行います。その後も継続的なコンサルティングを希望される場合は、定期的な商工相談員の派遣が可能です(初回費用無料)。継続したコンサルティングの希望の有無を下記にご記入ください。

☐ 商工相談員の派遣を希望する	☒ 商工相談員の派遣を希望しない
--	--

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
	横須賀中央地区下町祭礼 街区内アーケード下等に提灯装飾事業
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	物価の高騰が続いて消費者の買い控えと再開発による大型店の閉店 による買い回り導線の寸断による来街者の減少の歯止め策として 実施します。主催は町会行事ですが協賛して行ないます。 祭りムードを盛り上げて新規来街者の確保と遠ざかった来街者を呼び 戻すきっかけづくりとしたい。
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	近隣の3商店街が連携して祭礼1週間前より中央大通りを中心にして 統一感のある提灯装飾をアーケード下等に掲出して祭りムードを盛り 上げてPRし事前告知効果による本番の来街者増を図りたい。 町会主催のイベントですが活気ある商店街を演出して商店街活性化 の一環として盛り上げたい。 本番は5月24日(土)～25日(日)となり中央下町地区全体の祭礼です。 祭礼イベントの来街者は20,000人(イベント参加者は約2,000人) となります。
実施時期	令和7年5月16日(金)～5月25日(日)(1週間前より祭り提灯を掲出して盛り上げる)
実施場所	街区内アーケード下全てと街区内全域に祭り提灯を掲出する
事業のセールスポイント	子供からシルバー層までの全ての年代層が楽しめる祭りです。参加する 方々や観覧する来街者の方々(国内外の観光客含む)が一体となり楽し んで頂ける祭礼イベントです。

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	1		
広報手段	1週間前より街区内を提灯装飾によるPR・ポスター・ホームページ		
広報範囲	街区内周辺エリア	広報対象人数	50,000人
前年度からの改善 (定例事業の場合)	来街者をリピーターとして確保したい		
	本年度は本組合の役員が多く祭礼に参加しますので町会との連携を		
	密にして今後に繋げていきたい。		
【目標】 商店街で掲げる目標	祭礼当日の飲食店関連店舗の売上を 前年対比 110% 増加したい		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	20,000人	通常時	11,000人
今後の展開	来街者を呼び戻し賑わいを取り戻して商店街活性化の一環としたい。		
	駅前再開発によると来街者減の歯止めとしたい。		
	来街のきっかけづくりに繋げたい。		
事業費と内訳	費目	金額	備考
	提灯装飾費	110,000	撤去費含む
	合計	110,000	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
2	イルミネーション装飾事業
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	冬の夜の来街者を呼び戻す対策と新規来街者を獲得する魅力を発信し 再開発による駅前の大型店の閉店による買い回り導線の寸断による 来街者の減少と物価高が続いており買い控え状況の歯止めをかけたい。 来街者を呼び戻すきっかけづくりにしたい。 早期に活気ある商店街にするための対策として実施します。
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	横須賀中地大通りを近隣4商店街が連携して一体感のあるイルミネーション装飾を実施します。(省エネタイプLED電球を使用します) 夕方の4時30分頃に点灯し中央駅前を最終バスが発車後消灯します。 12月にはYデッキ周辺にてクリスマスライブ等を検討中です。 メインツリーにも新しい仕掛けを検討しています。 スマートフォンアプリを活用して斬新なイベントを推進します。 Yデッキ上や彫像ベンチを活用した関連装飾を検討しています。 イルミネーションの点灯式も検討したい。 1日平均の来街者を12,250人 前年対比2%増を目指します。
実施時期	令和7年11月1日(土)～令和8年3月中旬位迄
実施場所	本商店街内 (街路樹9本・メインツリー1本)
事業のセールスポイント	県道横須賀三崎線沿いの一直線に伸びた中央大通り両側に、下町4商店街が連携した一体感のあるイルミネーションを演出します。迫力ある幻想的なイルミネーション装飾です。多くの来街者に回遊して貰います。

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	2		
広報手段	ポスター・ホームページ・地域紙 等		
広報範囲	市内全域	広報対象人数	200,000人
前年度からの改善 (定例事業の場合)	来街者参加型の斬新な仕掛けを創りたい。		
	更に電球数を増球してより明るく幻想的にしたい。		
	メインツリーに新しい仕掛けを造りたい。		
【目標】 商店街で掲げる目標	各店舗に売上額 2% 増加		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	11,550人	通常時	11,000人
今後の展開	4商店街が連携して来街者が各商店街を回遊し売上増に繋げたい。		
	来街者参加型の新しい仕掛けを創りたい。		
	費目		
事業費と内訳	費目	金額	備考
	イルミネーション装飾	2,376,000	撤去費含む
	合計	2,376,000	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

令和 7 年度 商店街にぎわいづくり事業補助金 希望調査

(にぎわいづくりイベント事業)

○申請者

団体名	ヨコスカダウンタウンクラブ (YDC)			会員数	-
住所	[REDACTED]			組織 形態	☐ 法人
代表者					[REDACTED]
記入者	[REDACTED]	TEL	[REDACTED]		
		E-mail	[REDACTED]		

○補助金申請額

各事業費の合計	申請額
(2,236,500 円) 1/3→ (745,000 円)	
※ 対象事業費の下限額 30 万円	※ 補助限度額 200 万円
(千円未満切捨て)	

【市：事務処理欄 予算との差額 円】

○事業内容

※別紙に記入

○商工相談員の派遣

※審査会において、商工相談員が専門的な知見から、事業実施にあたっての助言等を行います。その後も継続的なコンサルティングを希望される場合は、定期的な商工相談員の派遣が可能です(初回費用無料)。継続したコンサルティングの希望の有無を下記にご記入ください。

☐ 商工相談員の派遣を希望する	☒ 商工相談員の派遣を希望しない
--	--

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
1	キッズフェスティバル 2025
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	当事業は、子供向けの企画を充実させることにより、ファミリー層及びその祖父母世代の横須賀中央地区への来街を促し、商店街組合員店舗の再認知や消費の喚起につなげることを目的とします。また、横須賀中央地区が、当該層・世代間で普段使い場として認識が共有されるきっかけとなることも期待します。
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	Y デッキ下広場 (集客見込：400 人) ・Yokosuka Dance FUNK Vol. 2 (キッズダンスショー、ダンスバトル 等) リドレ横須賀～三笠ビル商店街 会場 (集客見込：600 人) ・第 30 回 街市 - よこすか ・よこすか street マルシェ ・ヨコスカダウンタウンストリート・リドレ街角ライブ かながわ信金前会場周辺 (集客見込：1,000 人) ・VR ゴーグルによるリアル大地震体験 & 消防車と記念撮影 ・シエンタ車中泊体験、プリウス HV による給電実演、車載用防災グッズ展示等 ・「あなたも防災マイスター！備えよ。常に！」 ・ガラポン抽選 & 防災〇×クイズラリー
実施時期	令和 7 年 4 月 20 日 (日) 11～16 時
実施場所	Y デッキ下広場、リドレ横須賀、三笠ビル商店街、かながわ信金前、他
事業のセールスポイント	★40 ブースを超えるブース出展 (街市 & マルシェ) ★防災について楽しく学べる、防災〇×クイズラリーや防災関連出展

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	1		
広報手段	チラシ（新聞折込、配架、ポスティング）、ポスター		
広報範囲	横須賀中央地区周辺	広報対象人数	7,000 人※ ※チラシ発行ベース
前年度からの改善 （定例事業の場合）	今年度は、昨年の能登の震災や、南海トラフ巨大地震注意など、近年 関心が高まりつつある「防災」をテーマに設け、テーマ性のある出展 や企画を当事業の中心として位置づけました。		
【目標】 商店街で掲げる目標	当日の経済効果：200,000 円（1,000 円以上のレシート提示をガラポン 抽選会の参加条件の一つとし、レシートの枚数で効果測定を行う。）		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	6,000 人	通常時	4,500 人
今後の展開	引き続き、こどもが当事業に参加することで、学びと経験を得られる テーマを探す、または、掘り下げていきたい。		
事業費 と 内 訳	費目	金額	備考
	イベント制作費	400,000	会場申請・イベント制作
	広告宣伝費	350,000	ポスター作成、チラシ作成・折込
	報償費	100,000	景品購入、企画誘致
	雑費	45,000	保険、道路占用料 他
	合計	895,000	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
2	ゆかた DE スカブラ 2025
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	日本の伝統的和装であり、夏の風物詩であるゆかたを着用し、横須賀中央地区を散策（スカブラ）する非日常的な体験を通し、または、 普段着の来場者にとっても、そのような空間に身を置くことで、中央地区商店街やその取組みに関心を持っていただき、日常的な来街増加が促されることを企図します。
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	Yデッキ下広場（集客見込：400人） ・Yokosuka Dance FUNK Vol.3(キッズダンスショー、ダンスバトル 等) リドレ横須賀～三笠ビル商店街 会場（集客見込：600人） ・第31回 街市 - よこすか ・よこすか street マルシェ ・ヨコスカダウンタウンストリート・リドレ街角ライブ ・全かなスリッパ卓球選手権大会（横須賀三浦地域） かながわ信金前会場周辺（集客見込：1,000人） ・防災関連ブースの出店 ・商店街の逸品の当たるガラポン抽選会 ほか、横須賀中央地区を巡る、「ブロンズ像Xラリー」を実施
実施時期	令和7年6月8日（日）11～16時
実施場所	Yデッキ下広場、リドレ横須賀、三笠ビル商店街、かながわ信金前 他
事業のセールスポイント	★来場者に無料のゆかた着付け、ヘアセット、メイク等を提供 ★40ブースを超えるブース出展（街市 & マルシェ）

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	2		
広報手段	チラシ（新聞折込、配架、ポスティング）、ポスター		
広報範囲	横須賀中央地区周辺	広報対象人数	7,000 人※ ※チラシ発行ベース
前年度からの改善 （定例事業の場合）	ゆかた着付け、ヘアセット、メイク等サービス提供に係る協力事業者 を一部弊団体協力商店会から起用する方針。 スカブラの充実。（ダンスやスリッパ卓球など観覧する企画の増加）		
【目標】 商店街で掲げる目標	当日の経済効果：200,000 円（1,000 円以上のレシート提示をガラポン抽選会の参加条件の一つとし、レシートの枚数で効果測定を行う。）		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	6,000 人	通常時	4,500 人
今後の展開	出展者（マルシェなど）に当事業のコンセプトを共有（実施目的）し、 出展内容に反映していただくように打診していく。		
事業費 と 内 訳	費目	金額	備考
	イベント制作費	71,500	会場申請・イベント制作
	広告宣伝費	180,000	ポスター作成、チラシ作成・折込
	報償費	100,000	景品購入、企画誘致
	雑費	45,000	保険、道路占用料 他
	合計	396,500	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
3	ハロウィンフェスティバル 2025
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	近年、ハロウィンは日本においても、経済効果・マーケットの大きなイベントとして認知されており、本事業は本市においてもカジュアルな仮装からコスプレの愛好家まで、またその雰囲気・非日常的な空間を楽しみに来街する来場者にも需要があります。本事業では、それらの需要を横須賀中央地区に呼び込むことを企図します。
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	Y デッキ下広場 (集客見込：400 人) ・ YDC 加盟商店街組合員の PR ブース出展 (予) リドレ横須賀～三笠ビル商店街 会場 (集客見込：600 人) ・ 第 31 回 街市 - よこすか ・ よこすか street マルシェ ・ ヨコスカダウンタウンストリート・リドレ街角ライブ かながわ信金前会場周辺 (集客見込：1,000 人) ・ 防災関連ブースの出店 ・ 商店街の逸品の当たるガラポン抽選会 ほか、横須賀中央地区を巡る「ブロンズ像 X※ラリー」やハロウィンの特色を反映した企画 (予) を実施。※X には任意の企画名が入ります。
実施時期	令和 7 年 10 月 19 日 (日) 11～16 時
実施場所	Y デッキ下広場、リドレ横須賀、三笠ビル商店街、かながわ信金前 他
事業のセールスポイント	★仮装の来場者は、無料でガラポン抽選会に参加できるなど、会場全体でハロウィンの特性を活かして楽しめる企画を用意します。

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	3		
広報手段	チラシ（新聞折込、配架、ポスティング）、ポスター		
広報範囲	横須賀中央地区周辺	広報対象人数	7,000 人※ ※チラシ発行ベース
前年度からの改善 （定例事業の場合）	当事業で実施する企画に、企画力のある商店街組合員の参加や意見 を取り入れて、事業の趣旨（ハロウィン）に整合するように具現化 する。場所は、Yデッキ下広場を予定。		
【目標】 商店街で掲げる目標	当日の経済効果：200,000 円（1,000 円以上のレシート提示をガラポン 抽選会の参加条件の一つとし、レシートの枚数で効果測定を行う。）		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	6,000 人	通常時	4,500 人
今後の展開	出展者（マルシェなど）に当事業のコンセプトを共有（実施目的）し、 出展内容に反映していただくように打診していく。		
事業 費 と 内 訳	費目	金額	備考
	イベント制作費	400,000	会場申請・イベント制作
	広告宣伝費	350,000	ポスター作成、チラシ作成・折込
	報償費	150,000	景品購入、企画誘致
	雑費	45,000	保険、道路占用料 他
	合計	945,000	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
3	街市 - よこすか
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	当事業は、これまでの開催で構築された市内企業・団体との関係性、 弊団体が所有する資産（テント、机、椅子、システム）、当事業で賄 われる出展料も含めた予算を効果的に活用することで、頻回な開催を 実現し、横須賀中央地区のにぎわい創出と出展企業・団体の販促活動に 寄与することを企図します。
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	横須賀市にゆかりのある企業や団体・個人が、自社の製品やサービス を販売・PR をするブースを出展します。こうした販促活動を通して、 出展者の発展に寄与することはもちろんのこと、立ち並ぶテント（ブ ース）は会場の賑わいを演出します。 本年度の、出展は最大 40 ブース規模となる見込みで、同時開催される ヨコスカダウンタウンクラブの集客事業に組み込まれます。 第 30 回 令和 7 年 4 月 20 日（日）@キッズフェスティバル 2025 第 31 回 令和 7 年 6 月 8 日（日）@ゆかた DE スカブラ 2025 第 32 回 令和 7 年 10 月 19 日（日）@ハロウィンフェスティバル 2025 第 33 回 令和 7 年 11 月 2 日（日）or 3 日（月）@トモダチジャズ
実施時期	(上記参照)
実施場所	リドレ横須賀、三笠ビル商店街
事業のセールスポイ ント	★他主体（よこすか street マルシェ）と協働で開催することで、過去 最大規模の 40 ブースの出展を 3 回計画

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	3		
広報手段	チラシ（新聞折込、配架、ポスティング）、ポスター ※ 他の集客事業と同時に広報する		
広報範囲	横須賀中央地区周辺	広報対象人数	7,000 人※ ※チラシ発行ベース
前年度からの改善 （定例事業の場合）	他主体との協働開催により、実施規模と回数を拡大し、また、統一感のある装飾を施すことで、にぎわいの創出を強化します。また、本来の趣旨でもある、商店街組合員の街市への誘致にも注力します。		
【目標】 商店街で掲げる目標	商店街組合員の街市への誘致：年間目標 10 店舗 ※ ※ワンコインフード販売（商店街飲食店のお弁当委託販売）含む		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	各 600～1000 人	通常時	— 人
今後の展開	他主体の協働開催（他主体を招いて事業を実施する）に加えて、多主体との共同開催（他主体の実施する事業に参画する）ことで、開催の頻度を増やし、にぎわいの創出と街市の認知の強化に努めていく。		
事業費と内訳	費目	金額	備考
			※当事業の経費は事業 NO.1～3 に計上されています
	合計		

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要